

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年11月6日（水）

2 確認箇所

- ・ K2タンクエリア
- ・ 1/2号機共用排気筒（1/2号機開閉所前等から確認）

3 確認項目

- （1） S r 処理水の移送作業の状況
- （2） 1/2号機共用排気筒解体工事の状況

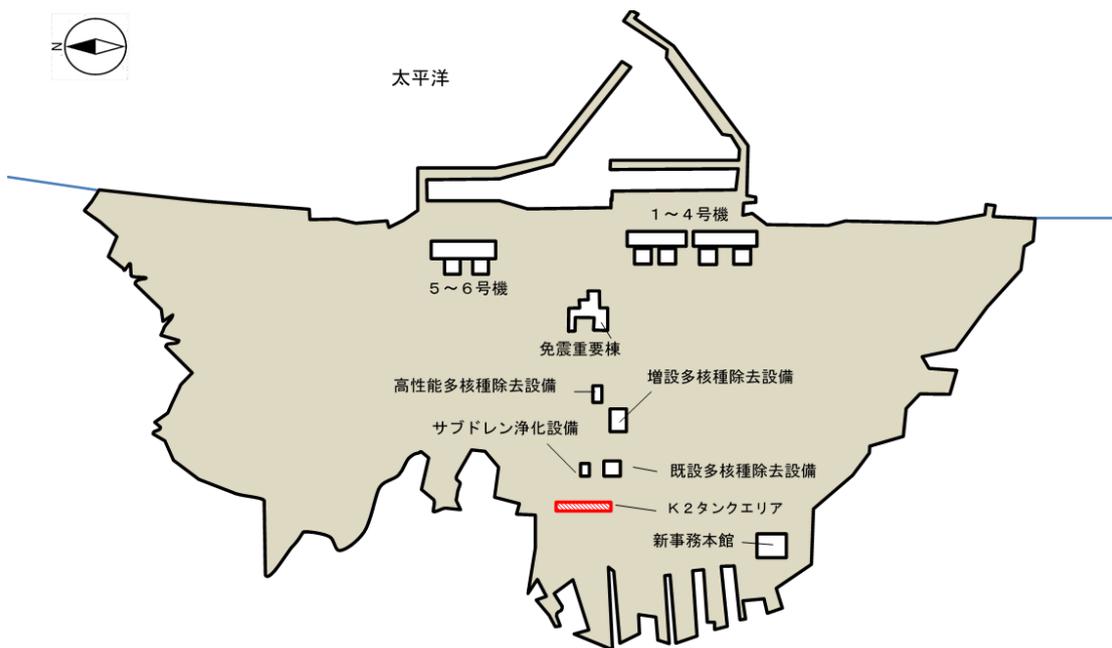
4 確認結果の概要

- （1） S r 処理水の移送作業の状況について

K2タンクエリアの溶接タンク（以下、K2タンクという）にはS r 処理水が貯留されているが、S r 処理水をH8タンクエリアの溶接タンク（以下、H8タンクという）に移送し、K2タンクを再利用する計画である。当該作業の実施にあたっては、仮設移送ポンプを既設配管に接続し、ホース接続箇所への受けパンの設置や、監視員を配置する等の漏えい防止対策を講じて実施することとされている。

本日は、当該作業が実施されていることからその状況を確認した。（図1）

- ・ 仮設のポンプユニットはK2タンクエリア内堰（B1タンク近傍）に設置されており、監視員1名が漏えいの有無等の状況を確認していた。（写真1）
- ・ ホースは二重化されており、仮設のポンプユニットの継ぎ目には受けパンが設置されていた。さらに継ぎ目はビニールで養生されており、漏えい拡大防止対策が取られていた。（写真2）
- ・ 現場の作業員によると、受け入れタンクであるH8タンクの水位は免震重要棟の集中監視室で確認しており、適宜携帯電話で情報を共有しているとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
仮設のポンプユニットはビニールで
周囲が養生されている



(写真2)

(2) 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2号機共用排気筒解体工事は10月27日から4ブロック目の解体作業が開始され、電線管等の付属品や筒身の50%まで切断が完了してお

り、11月6日から解体装置（鉄塔解体装置）を用いて、鉄塔（斜材）の切断が開始される予定であることから作業の状況を確認した。

- ・免震重要棟近傍から現場を確認した際は、鉄塔解体装置が排気筒頂部付近まで吊り上げられていた。なお、東京電力によると、12時45分に鉄塔解体装置の吊り上げを開始したとのことであった。（写真3）
- ・1/2号機開閉所前に移動し現場を確認した際は、鉄塔解体装置が排気筒頂部に据え付けられており、クランプで斜材を固定していた。（写真4）
- ・東京電力によると、14時43分に斜材の切断を開始したとのことであった。



（写真3）
13時30分頃撮影



（写真4-1）
14時20分頃撮影



（写真4-2）
斜材切断装置拡大
2箇所の斜材をクランプで固定している
斜材の切断は切断装置内部のチップソーで押切りにより行う

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。